

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

自治会連合会、恩田地域づくり
協議会、自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	300,091 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	148人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・避難所運営模擬訓練/感染症対策 年1回 (21人) ・避難所運営マニュアルの作成/総務グループ会議年4回 (延べ67人) ・総会 (30人) ・防災の日行事/危険個所の調査 9/27 (日) 年1回 (自治会長やコミュニティ各団体役員ら30人) 3班に分かれて倒壊の恐れのある塀、用水路等点検、炊き出し訓練 (夏まつり・文化祭・冬祭り) 中止			
事業目標	・災害時に備えた備品の使い方確認			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	防災訓練参加人数	300人	中止	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナの影響で全校区民を対象に行う訓練は中止。地域づくりで行った住民180人へのアンケート (回収率80%) では防災訓練を必要と思う住民が約60%で意識が高かった。			
事業効果	・皆で協力しようという気運が高まった。・避難所運営マニュアルの作成につながった。・災害に強い地域の絆づくりの推進ができた。・9/6 (日) 台風10号によりセンターが避難場所 (33人) になったが、宇部市の備蓄食料が使えず、地区で購入している飲料などを使用した。5年保存のおにぎり、野菜ジュースなどを備蓄に加え緊急時に対応できるように整備した。2階フロアを養生テープで仕切った。(ロープを使用、体育館を仕切る時にも応用する。) 車いすの方は恩田小体育館で簡易ベッド使用。			
今後の課題等	各自治会の連絡網の整備。行事を前日に中止をした時に、自治会長に緊急連絡網で連絡したが、機能しない。(戻りの連絡0) 一斉メール配信をしてはという意見もあり。27-3区、22-1区は自治会長が班長に連絡し、班長が班の世帯に連絡をした。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献 (課題解決・魅力創出) につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	①	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

体育振興会、老連、歩こう会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	345,000 円		助成金充当額	300,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	464人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ソフトボール、ソフトバレー大会 (中止)、カローリング大会 (中止)、ニュースポーツ体験講習会 (中止) クップ (中止) ・体育振興会役員会議3回 (延べ30人) ・校区運動会 (中止) ・男の料理教室 (中止) 市老連スポーツ大会 (20人) ・文化祭バザー (5人) ・演芸大会 (10人) ・地区老連研修会 (31名) ・ベタンク練習2回 (40人) ・登下校見守り・老連役員会 (延べ60人) 歩こう会役員会7回 (延べ53人) 下見4回 (延べ26人)、/ ガイドと歩く桃色レンガから宗隣寺 (33人)			
事業目標	・校区民に身近に運動を取り入れてもらう。・毎月第3水曜日に保健師による健康相談 7月～翌3月9回 (156人)			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	校区人口12500人の1割が参加	1250人	464人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・老人クラブでは、ベタンクを購入し講習を2回行い運動不足の解消のきっかけづくりができた。・歩こう会ではコロナの影響でバスを利用しない方法をとった。(行きは歩き、帰りは乗り合いタクシー) ・各競技大会はコロナ禍の為全て中止			
事業効果	・老人の健康づくり・独居老人の交流の場の創出・出会いが期待できる・顔見知りのいない参加者が見学地までの歩行中や護国神社境内での昼食時に多くの参加者と会話ができたことを喜んでいた。・保健師による相談可能日に健康チェックなど校区の備品を活かす。・校区内住民の体力向上と相互の親睦をはかる			
今後の課題等	・各スポーツ大会の競技に参加者が年々減少している。参加したくなるような体振にするため、若い人の入会や意見を取入れ魅力ある組織にしていく必要がある。・高齢者の歩行能力の衰退は本人、家族の幸せを維持する障害となる。住民に事業を丁寧に説明して参加率を高めたい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

まちづくりサークル、子ども委員会、恩田小学校運営協議会、常盤中学校運営協議会、恩田地域づくり

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	210,081 円		助成金充当額	200,000 円
事業対象者	全校区民		参加人数	1,117人
事業内容	・まちづくりサークル年7回(延べ77人) 恩田ふれあいセンター花壇整備(2回)/恩田小学校清掃作業(2回)/出前講座(3回)・常盤中試験前学習(延べ300人・6回)・75歳以上独居の方へ年賀状作成(150人)あて名書き(民協)・恩田小屋休み学習(延べ540人・18回)・昼休み学校で遊ぼう!(中止)・昼休みコンサート(中止)・パウロさんと踊ろう(中止)・運動会バトン部演技(中止)・夏祭り吹奏楽演奏(中止)・バトン部演技(中止)、文化祭バトン部演技(中止)、文化祭生徒会発表(中止)夏祭りサッカー部準備片づけ手伝い(中止)、冬まつり野球部各コーナー手伝い(中止)・ジュニアリーダー年間(中止)高校生ボランティア夏・冬まつり(中止)・門松づくり水泳部手伝い(20人)			
事業目標	学校に出向く、学校から校区の行事にスタッフとして参加してもらうなど交流			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	校区民と小学校児童、中学校生徒数3割が参加する	4,200人	1,117人	
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因)・今年はコロナの影響で3回中止9/11「宇部の歴史を学んでみませんか?」30人参加は好評で、常盤公園ウォーキングや常盤湖本土手整備への関心が高まった。(まちづくりサークル)・心のこもった年賀状を書くことができた。(子ども委員会)・積極的な働きかけにより特に1年生の参加が多かった。(常盤中)			
今後の課題等	・現在の会員は高齢者が多くもっと若い人も入会していただくよう努力する。(まちづくりサークル)・子ども教室で年賀状を書いてくれる子どもを増やす。・塾に行けない生徒や一人での学習が難しい生徒にとっては、特に有効である。(常盤中)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	3
	今後も事業継続できますか	1	2	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

恩田地域づくり協議会、社会教育推進委員協議会

事業名	4	地域づくり行事運営事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	322,248 円		助成金充当額	312,248 円
事業対象者	全校区民		参加人数	293人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 各行事参加者・スタッフ延べ人数・地区体育事業ウォーキングチャレンジ(73人)・空港グランド清掃(60人)・地区文化事業ウォークラリー(120人)、フォトコンテスト(40人)・新年互礼会(中止)・冬まつり(中止)			
事業目標	夏祭り、文化祭、新年互礼会、冬まつり			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	校区人口の1%が参加する	100人	73人	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ウォーキングチャレンジ; 宇部市のはつらつ健康ポイント事業と合わせて参加者を募り、コメント欄に保健師さんから一言記入してもらうなど工夫した。フォトコンテスト; 初めての試みで応募は少なかったが、優秀な作品をHPのトップ画像に使用して恩田をアピールすることができた。ウォーキングチャレンジは山口新聞、宇部日報で、作品展示とフォトコンテストは宇部日報で紹介された。			
事業効果	ふるさと恩田への愛着心の増加、今後も各行事で小中学校との連携を大切にして運営し、子どもからシニア層までが楽しめる行事にしていきたい。社会教育推進委員会議で、恩田小校長よりご提案のあった小学生の作品展示は山口銀行則貞支店、則貞郵便局、センターの協力を得て多くの方に見てもらい喜んでいただいた。文化祭で展示に応募の住民の方の作品も併せて対応できた。			
今後の課題等	・恩田地域づくりアンケート106人回答/180人 恩田に欠かせない行事は?第1位 夏まつり69人、第2位 防災訓練62人、第3位 冬祭り58人。恩田は教育と治安がよく住みやすい地区と人気、もっと若い人が積極的に役員になって盛り上げてほしい。・地域が恩田小学校と協働で行っている活動でご存じの活動は?第1位 見守り隊(89%)第2位 プール見守り(43%)第3位 朝学絵本読み聞かせ(41%) 思いっきり身体を動かせる場所がほしい。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

老連、おんだ翼、恩田地域づくり協議会

事業名	5	三世代交流事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	80,109 円		助成金充当額	80,109 円
事業対象者	全校区民		参加人数	85人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・門松作り(60人)中学生参加・常盤公園イルミネーション作品作成(中止) ・おんだ翼定例会年5回(延べ25人)			
事業目標	・センターを中心に1年の無事を祈りながら門松を製作し絆を深める・三世代交流行事により地域への愛着と子どもは地域で育てると意識の醸造を図る			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	三世代交流行事創出	5回	5回	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・各団体の既存の行事等を団体間で組み合わせることにより新たな取り組みを創出できた			
事業効果	・皆で協力して取り組むので、新しい人間関係が構築された。			
今後の課題等	・中学生が門松作りに参加、安全面、指導面は顧問と協力しながら対応するが、部活単位での参加の為意欲の少ない生徒も一定数あり。お互いに貴重な体験をしているので、地道に活動を続けていきたい。・伝統の伝承活動の強化・住民からしめ縄や門松づくりを家用に作りたいという問い合わせがあった。間口を広げて小学生親子と希望者が作れるといい。・今年はイルミネーションの製作を断念したが、機材の修理を行った。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

交通安全協会恩田分会、見守り
ネットワーク、見守り隊

事業名	6	交通安全事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	96,996 円	助成金充当額	96,996 円	
事業対象者	全校区民	参加人数	4487人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・交通安全教室2回(76人)新入学児童交通安全教室(112人)・春・夏・秋・年末交通安全週間活動(400人)秋の交通安全週間啓発活動(6人)・登校時見守り活動(延べ3640人)・啓発旗の設置/収納・子どもの安全確保についての会議年12回(延べ60人)・自転車教室(120人)・夏休み前交通指導(社会福祉協議会主催)協力(約40人)・見守り隊研修会(中止)・見守り隊役員会2回(8人)・啓発1日・15日・研修(書面25人)			
事業目標	・子どもの安全確保			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	児童の交通事故0	0	0	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・隊員にアンケートで危険箇所をあげてもらい、宇部警察署交通課よりアドバイスをもらい書面での回答をした。・平日の朝と午後の活動はなかなか難しい面がある。			
事業効果	・あいさつのいきかう地域をめざして、事故もなく見守りができた。・コロナ禍でも多くの人が見守り活動に参加して下さり子供から大人まで元気をもたらえた。			
今後の課題等	・毎年ながらポケットに手を入れたまま登下校。縁石で遊ぶ。等が課題。・新隊員の増加・ながら見守りを進めていく。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2	③
	今後も事業継続できますか	1	②	3

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

ふれあい運動推進委員会、子ども
会育成連絡協議会

事業名	7	青少年の健全育成事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	185,049 円		助成金充当額	185,049 円
事業対象者	全校区民		参加人数	707人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・ふれあい定例会(中止)(恩田小、常盤中の担当教諭も出席)小中連携や地域と学校の調整を担う・中学生の下校指導、少年の非行防止、健全育成のための相談及び補導活動・街頭歩道(ショッピングセンター含む)やスタッフとして行事参加(120人)・球技大会、文化祭、レクリエーション(高学年・低学年)、クリスマス会、市子連等子ども会活動21回(延べ371人)・定例会/行事前担当者会議11回(延べ118人)・宇部市市子連会議出席15回(19人)安全研修会(35人)総会(44人書面議決)			
事業目標	・子どもたちが安心して安全に暮らせる地域づくり(ふれあい)・次世代育成(子ども会)			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	・子ども110番の家の旗設置個所の増加 ・地域内の駐輪場自転車の鍵施錠率	・1軒/年 ・90%	・1軒 ・75%	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・子ども110番の家の設置個所1軒増が達成できたのは、会員の日頃からの努力によるもの。・自転車の鍵施錠率の目標を達成できなかったのは、学校等への呼びかけ、周知不足。・コロナ禍のため行事中止が多く、思うように活動が展開できなかった。(恩子連)			
事業効果	・青少年の健全育成と非行防止及び安全確保(ふれあい)・地域の人とのふれあいが増え、愛着が芽生える(恩子連)			
今後の課題等	・子ども110番の家設置において、子どもたちの登下校在宅している必要があるため、依頼する。(ふれあい)・子ども会は子どもと保護者を地域と結びつける大事な団体だが、子ども会離れが進んでいる。加入率が全体の20%・子ども会の良さの広報活動の強化・時代のニーズに合う子ども会行事の見直し・参加者の負担軽減・HPを効果的に活用する広報活動の強化が必要(恩子連)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか			1 2 (3)
	助成金を有効に活用できましたか			1 2 (3)
	多くの住民の参加が得られましたか			1 (2) 3
	今後も事業継続できますか			1 2 (3)

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書 (事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

環境衛生連合会恩田支部

事業名	8	ごみ減量化事業		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	199,820 円		助成金充当額	199,820 円
事業対象者	衛生部長、ゴミ減量推進員、校区民		参加人数	120人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ごみ減量視察研修参加者 (中止) ・燃やせないごみの分別指導 (中止) ・校区運動会ではゴミ分別競技 (中止) ・冬まつり神事後にポイ捨て禁止の啓発活動。(中止) ・地区内空き缶拾い2回 (7月、10月延べ71人) ・理事会1回 (延べ6人) ・段ボールコンポスト助成 (40件) ・ごみステーション設置助成 (3件)			
事業目標	ごみ分別・ゴミ減量の意識向上と推進、段ボールコンポストの拡充			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	段ボールコンポスト普及	50件	40件 (7月～) 年間は50件	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナの為、講習会ができなかった。			
事業効果	・年2回の美化活動によりポイ捨ての減少がみられた			
今後の課題等	・多くの方にゴミの減量化を知ってもらい、家庭でできることをひろめていきたい。・中学生が毎週水曜日に学校周辺の美化活動をしているので、空き缶拾いなどで何か一緒にできることはないか検討する。			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献 (課題解決・魅力創出) につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体 恩田地域づくり協議会、女性部
会

事業名	9	運営事務費		
事業期間	令和2年4月～令和3年3月			
決算額	866,771 円		助成金充当額	320,366 円
事業対象者	全校区民		参加人数	413人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・地域づくり協議会役員会年間10回(延べ240人)・地域づくり協議会三役会年間11回(延べ55人)・運動会実行委員会(中止)・夏祭り実行委員会(中止)・文化祭実行委員会(中止)・冬まつり実行委員会(10人)・門松づくり実行委員会(10人)・企画検討委員会(10人)女性部会総会・定例会5回(6/13・7/25・9/20・10/31・12/12延88人)			
事業目標	・理解を深める・お互いを知り情報交換する。			
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績	
	HP動画の視聴500人		198人	
	(達成できた、又は、できなかった要因)・ホームページを多くの人に見てもらうしかなければ必要。新しい生活様式の助成金を利用してHPを発信型へ。ワードプレスを利用してお知らせ。・日々の活動をHPに掲載していく			
事業効果	・地域づくりアンケートの実施で各自治会同士の情報交換と各自の思いを聞くことができた。・Googleアナリティクスによると3/19現在宇部市255人がHPを見てくれていて、大阪、山口市、美祢市他の他市からの閲覧を合わせるとユーザーが761人。よく見られている頁などの解析をもとに魅力あるHPをめざしていく。・ウォーキングチャレンジ、小学生の作品展いずれも好評で地域づくり協議会を身近に感じてもらえるようになった。			
今後の課題等	・今年は大きな行事がなかったが、継続して日々できる活動を行った。(女性部会)・地域づくり協議会では人を集める事業はもう1年難しいかもしれないが、感染対策を取りながらできる事業を行う予定。また構成団体の日々の活動を知ってもらう広報活動に力を入れる。(地域づくり協議会)			
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか	1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか	1	②	3
	今後も事業継続できますか	1	2	③

(添付書類用)

令和2年度 地域創生事業助成金 実績報告書(事業別)
(地域活動支援事業及び地域計画推進事業)

事業実施団体

社会福祉協議会、母子保健推進
委員会、民生児童委員協議会

事業名	10	福祉活動事業			
事業期間	令和2年4月～令和3年3月				
決算額	203,612 円		助成金充当額	203,612 円	
事業対象者	全校区民		参加人数	3216人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか)・定例会3回(30人)・敬老品配布スタッフ(500人)・敬老事業対象者(2150人)・お楽しみ昼食会2回(中止)・ひよこランド3回(200人)・ひよこミルク12回(96人)・母推定例会12回(延べ120人)・子育てをしている方がほっと一息できる楽しい場所・オレンジほっとサロン6回(延べ120人)体操・ゲーム・歌・クイズ・作品づくり・体力測定・講和・介護相談				
事業目標	高齢者、子育ての若者の居場所作り				
	数値目標	令和2年目標	令和2年実績		
	行事への参加者増	—	—		
	・コロナ禍で、高齢者対象の行事の開催ができなかった。・子育て中の親子の参加事業は人数制限を行い開催。				
事業効果	・参加者が進んで行事などお手伝いをしてくださるようになった。(オレンジほっとサロン)・敬老品の配布では、福祉委員、民生・児童委員、自治会役員が協力し高齢者とふれあうことができた。(社協)				
今後の課題等	・会場が狭いので、15人位の目安で進めたい。(オレンジほっとサロン)・事前予約制(校区内35組までに限る)(ひよこランド)・老若男女の多くの人と出会える居場所作りを考えたい・福祉委員だよりの活用:班回覧分印刷して配布する(社協)				
自己評価 (3段階評価) 1:不十分 2:効果的 3:非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2	③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2	③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	2	③